

ゆふいん盆地まつり

第58回

令和8年 8月15日～16日

15日雨天時…蝗攘祭・万灯籠火祭りは中止、ゆふいん盆地花火は小雨決行。荒天時は8月17日に延期。
16日雨天時…供養盆踊り大会は中止。合同慰霊祭はラックホール3階小ホールにて行います。

8/15

土曜日

由布院駅前周辺

城橋三角州特設ステージ

19:00～ゆふいん源流太鼓 三角州特設ステージ

19:30～蝗攘祭 駅前・商店街周辺・城橋 三角州特設ステージ

20:20～万灯籠火祭り

20:45～第41回ゆふいん盆地花火 主催：ゆふいん盆地花火実行委員会

ゆふいんラジオ局
2026.8.15
20:30～ON AIR
FM 87.4MHz
ゆふいん盆地花火特別番組
「夜空に輝く希望の光」
花火と一緒に素敵な音楽を
お楽しみ下さい
防災ラジオでも聞けます

8/16

日曜日

新町由布見通り特設会場

16時より新町由布見通り交通規制

19:00～合同慰霊祭

19:40～庭入り 塚原自治区

20:00～供養盆踊り大会



主催：ゆふいんまつり実行委員会

「ゆふいん盆地まつり」のススメ
■蝗攘祭(こうじょうさい)

この蝗攘祭は、農家の方々がイナゴやウンカといった害虫に悩まされることなく、五穀豊穡でありますようにとお祈りをするお祭りです。

別名「虫送り」「実盛送り」とも呼ばれています。町内の道々に飾られている藁人形は実盛(さねもり)どんと呼ばれ、行列のお囃子では「実盛どんのこー死んだー、後あ、富貴万福利」と唱えています。

これは、歴史上でも有名な「源平の乱」に由来します。平家方の老将・斉藤実盛が、源氏方の手塚太郎光盛と一騎打ちの戦いとなった際に、実盛の馬が稲株につまづいて倒れ、そのまま光盛に討たれてしまいました。

稲を恨んでいる実盛の怨霊が、イナゴやウンカとなって田畑を荒らすのだという伝説にちなみ、その霊を慰め、豊作を祈る行事として、この蝗攘祭りが始まったと伝えられています。

湯奔会が引く山車の掛け声で驚き飛び出してきた害虫を商工青年部率いる笛の音色、後に続く男衆の松明の光がゆっくりと三角州へと誘導していきます。

蝗攘祭のクライマックスは、大松明への点火です。湯布院が誇る源流太鼓の勇壮な演奏と共に、藁人形の「実盛どん」は燃やされ、天へと送られます。

行列の男衆が配っているのは、町内の六所宮(宇奈岐日女神社)で祈禱されたお札です。ご家庭の菜園や田圃などに立てて、虫除けと豊穡をお祈りください。

■万灯籠火祭り(まんとろうり ひまつり)

自治区の人たちによって、三角州、駅裏等、由布院盆地に明かりが灯されます。

その様子はとても幻想的できれいです。打ち上げられる花火と共に楽しみください。

■ゆふいん盆地花火(ゆふいんぼんちはなび)

万灯籠の広がる駅裏一帯から花火が上ります。

「ご先祖さまを懐かしみ、感謝する心」をテーマに供養の花火として、盆地の夜空に打ち上げます。

ぜひ、盆地ならではの音の響きを感じてください。

当日はゆふいんラジオ局で特別番組を放送します。音楽とともに、しっとりとしたゆふいんならではの花火をお楽しみ下さい。

■供養盆踊り大会(くようぼんおどりたいかい)

初盆供養の「合同慰霊祭」と「庭入り」から始まります。

「庭入り」は、その方法や傘ぼこを伝承している地区が持ち回りでを行います。

その後は、各地区の踊り子たちが、由布見通りを埋め尽くす供養盆踊りへと移ります。

「一ツ拍子」「まかせ」「左衛門」「蹴出し」を踊り、最後に「由布院盆唄」を踊ります。盆踊りの唄を口説きと呼び、それに掛け合う様にして、太鼓、合の手が加わります。合の手と踊り方を覚えたら、皆さんもご先祖様のためにぜひ、参加してください。